



飛驒匠のDNAを受け継ぐものづくりのまち

メイド・バイ飛驒高山認証

市では、飛驒高山ブランドコンセプトに合う独自性と信頼性の高い地場産品を「メイド・バイ飛驒高山認証産品」として認証しています。ものづくりの匠たちの熱い思いに触れてください。

No.22  
TRAIN BLUE  
のパン  
なせる  
有限会社

子どもから大人まで幅広く親しまれている「なせるのパン」。

なせるは、大正元年に和菓子製造を主として創業し、その後パン製造に着手しました。戦後に始まった学校給食を担い、今も飛驒地域唯一の委託工場として、子どもたちに温かいごはんやパンを提供し続けています。

4代目の成瀬 正ただしさんは、東京のリテールベーカーリーやホテルで修業を積み重ね、平成元年に「トラン・ブルー」を開業しました。店にはブルートレイン(寝台列車)のように長い道のりを目的地向かってひたすら走り続ける、という想いが込められています。

「高山でも本格的なパンを食べたい」という人たちのため、30年以上夢中で走り続けてきました。今こそ日本中から



## 夢を運ぶ ブルー・トレイン



▲トラン・ブルーのパンは、職人たちが手間暇かけて全てを手作りしている。

ファンが押し寄せる人気店となりましたが、売れない時期もあったといいます。

「高山の人は本物の味を知っているんです」。成瀬さんは、地元の人たちにも満足してもらえるパン作りのため、世界を目指して研鑽を積みました。

パンのワールドカップと言われる「グープレ・デュ・モンド・ド・ラ・ブルーランジュリー」で世界に名を馳せるパン職人となった成瀬さん。皆さんのご期待に沿えるパンをご用意できるようにしました。そう胸を張ります。

今後は後進の育成に加え、高山の自然を活かした新しいパン文化を築きたいとのこと。成瀬さんは、また新たな目的地に向かって走り出しています。

### 市長室へ ようこそ

●市民と市長の面談日

12月13日(月) 9:00~11:45

\*事前にご予約ください

\*新型コロナウイルス感染症の状況によっては中止する場合がありますのでご了承ください。

市長室直通FAXもご利用ください FAX●36-2060

問合せ 秘書課 ☎35-3130



### パソコン・スマホから確定申告!

例年、確定申告相談の会場は大変混雑します。新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点からも、パソコン、スマホなどによる電子申告(e-Tax)をご利用ください。

電子申告による送信には、マイナンバーカードまたは電子申告用のID・パスワードが必要です。ID・パスワードは、高山税務署(☎32-1020)で取得できます。

問合せ 税務課 ☎35-3626

### 義援金の募金箱を設置しています

市では、被災された方を支援するために、インフォメーション(本庁1階)と各支所地域振興課に義援金箱を設置しています。

集まった義援金は、日本赤十字社岐阜県支部を通じて被災された方々に届けられます。

義援金名称	募金箱設置期間
令和3年7月大雨災害義援金(静岡県、島根県、広島県)	12月28日(火)まで
令和3年台風第9号等大雨災害義援金(青森県)	
令和2年7月豪雨災害義援金(福岡県、熊本県)	令和4年3月31日(木)まで
令和3年8月大雨災害義援金(福岡県、佐賀県、長崎県、島根県、広島県)	
令和3年長野県茅野市土石流災害義援金(長野県)	

\*配分先は追加される場合があります。

問合せ 日本赤十字社高山市地区事務局(福祉課内) ☎35-3356

いのち・サポートひだ「こころの電話相談」☎0120-36-4670

(毎週土曜日 午後6時~9時)\*携帯電話からも利用可能



2021.12